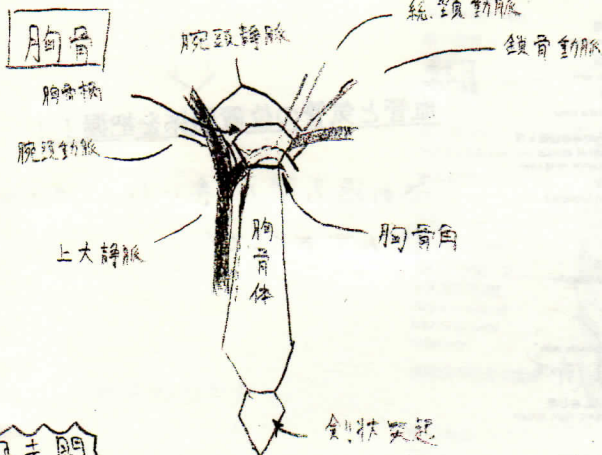


過去問

後縦隔には消化管として16. (食道)、血管として17. (胸大動脈、18. (奇) 静脈があり、リンパ液を運ぶ19. (左) 管が存在する。

食道は心膜に包まれた28. (左) 心房の後ろにあり、29. (後) 縦隔の構造である。

- ・胸骨と動脈・静脈の位置をたづね
- ・胸骨角の後ろに胸線あり



過去問

胸骨は1. (胸骨柄)、胸骨体、2. (剣状突起) の3つの部分からなり、胸骨体の後ろに存在するのは主に3. (右) 心室である。胸腺は4. (前) 縦隔の構造である。

行 動脈・静脈
上大動脈 ascending aorta

- ・大動脈弓をつくる(胸骨角の位置から)
(左心室の動脈口から起こり、肺動脈幹の後ろにあるが右前方に上行、後方に曲って大動脈弓に) ここから主に以下の5つへ分化
腕頭動脈 右鎖骨下動脈 右総頸動脈
左総頸動脈 左鎖骨下動脈

上大静脈 superior vena cava

- ・右心房に入る
- ・心臓に出入する大血管のうち、最も右側かつ後方

肺動脈(幹) pulmonary trunk

- ・心臓から出る血管のうち最も前列にある
- ・左右の肺動脈に分かれるところで、大動脈弓の下壁と線維索で結合(動脈管索)

動脈管索 arterial ligament

- (胎生期に肺動脈と大動脈とを連絡する動脈管の遺残である)

奇静脈系 azygos system of vein

上大静脈と下大静脈を結ぶ重要な連絡路
(下半身の血を集めて上ぼってくる)

椎骨に沿って上がる

発達には個体差が大きい

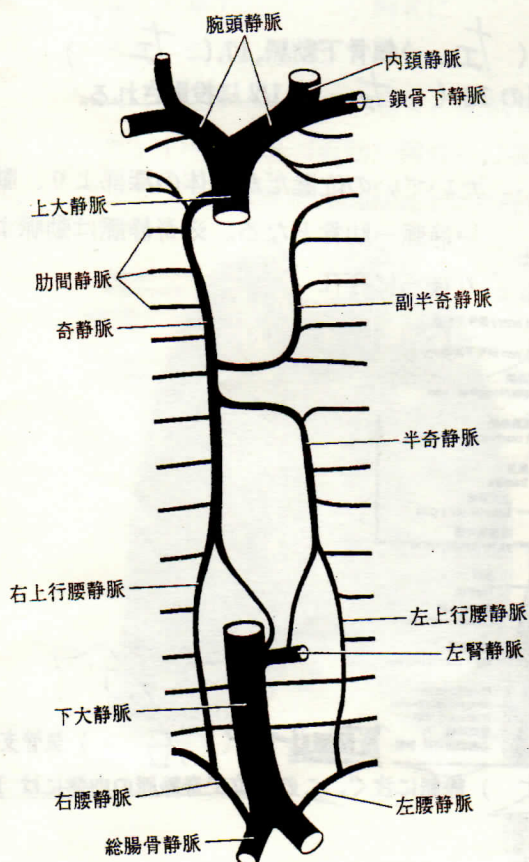


図 5-76 奇静脈と半奇静脈